



コスモス

NO.53 HPのみ

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

すばらしい歌声・すばらしい放送

27日(金)、職員室で西日本放送の『さわやかラジオ ラ・フレッシュ』を聴きながら、『校歌斉唱～思い出の校舎』のコーナーが始まるのを、今か今かと待っていました。

10時30分過ぎ、ついに始まりました。職員室には7～8人ぐらいいたのですが、みんなシーンとして聴き入っていました。

財田小学校のこと、子どもたちのこと、地域の皆様のこと、財田の歴史のこと、自然のこと……、たくさんの方が詰まっていた。その内容は、私がインタビューで答えたことが多く含まれていましたが、アナウンサーの岸たけしさんが、ご自分で調べられたんだなあ！と思うこともたくさんありました。更には、そのたくさんの方が、ものすごく巧みに構成されていました。職員室でも、「さすがですねえ！」と驚きの声が上がりました。

そして、何ととっても放送の中心は、3月3日に子どもたちが歌った、我が財田小学校の校歌です。先日の号で、「最高ランク」と絶賛しましたが、ラジオ(スマホ)で聴くのは初めてなので、ワクワクしながら聴いていました。大川先生が奏でる前奏に続いて歌が始まりましたが、元気いっぱいの声が響いていました。何百人いるのだろう!!!と、聴いた人は思ったかもしれません。とにかく、「すさまじい」じゃなかった、「すばらしい」いや「すばらしすぎる」明るく元気いっぱいの歌声でした。

普通はこれで終わりです。今回は終わりではありませんでした。その後ラジオから財田小学校のチャイムの音が聞こえてきました。あっ！そういえばそうだったのです。録音から3週間余り経っていたので忘れていましたが、当日、本番の歌が終わって数秒後にチャイムが鳴り、アナウンサーの岸さんが、「歌っている途中でなったら、取り直してでしたが、財田小学校のみなさんは、モッテいますね！」と言われたのを思い出しました。それにしても、あの部分をカットするのではなく、見事に生かした構成の見事さに驚き→感心し→感動しました。

作詞者 山崎雅信さん、作曲者 山崎盾之さんの想いにもふれていただきました。また、コスモスの校章に込めた、作者 近藤雅弘さんの願いも紹介していただきました。

大久保謙之丞さんのことも、しっかりと語っていただきました。1番の歌詞の冒頭「どんな世界があるのかな 阿讃の峰の向こうには……」は、作詞の山崎雅信さんが、謙之丞さんの想いを、財田小学校の子どもたちに託してくださったのだと思います。今回の取材を通して、謙之丞さんの想いを読み取り、校歌の歌詞と重ねて放送の中で紹介して下さった岸さん、本当にありがとうございました。

この放送の反響はとても大きく、何人もの方から、お電話でご感想をいただきました。お礼の気持ちをお伝えしてお話をしながら、財田小学校に想いを込めてくださっていることに、改めて感謝の気持ちをお伝えしました。財田小学校は、今通ったり勤めたりしている私たちの学校ですが、私たちだけの学校ではないのだと感じました。財田のみなさんの、そして、過去・現在・未来、子どもたちや学校に関わっていただいている方みんなの学校だという思いを強くしました。ありがたいことです。また、財田小学校の子どもたちが健やかに成長し、発信することによって、多くの方が喜んでくださっているということも強く感じました。子どもたちの力・学校全体の力を発信できたことに感謝・感謝・大感謝です。

夕方、アナウンサーの岸たけしさんご本人が、放送を同時録音したCDを、財田小学校まで、何と直接届けていただきました。すばらしい放送へのお礼の気持ちをお伝えすると、岸さんは、財田小学校の子どもたちのすばらしさ、地域のすばらしさを何度も何度も伝えてくださいました。ありがとうございました。※ラジコで「1週間聴くことができる」とお伝えしましたが、一部間違いがございました。設定変更等が必要なようです。また、設定によっては有料のようです。申し訳ございませんでした。

※裏面に「校歌」と「阿讃の峰」

財田小学校校歌

作詞 山崎雅信
作曲 山崎盾之

一 どんな世界があるのかな
阿讃の峰の向こうには
みんな仲良く支え合い
互いの夢を語ろうよ
笑顔の財田小学校

二 どんな生命がいるのかな
財田の川の行くところ
みんな楽しく学び合い
生きる力を磨こうよ
元気な財田小学校

三 どんな未来があるのかな
集うわれらの行く手には
みんな明るくたくましく
希望の道を進もうよ
輝く財田小学校



財田小学校の玄関から見える「阿讃の峰」